

③行政コスト計算書

(平成24年4月1日～
平成25年3月31日)

行政コスト計算書は、経常行政コスト（資産形成につながらない行政サービスに要する経費）と経常収益（使用料や負担金などの収入）からなり、これらを差引きしたものが、純経常行政コストになります。この行政コスト計算書は企業会計における損益計算書にあたるもので、営利を目的としない市の行政サービスの提供にどれだけの費用（コスト）がかかったかを表すものです。

平成24年度の経常行政コスト総額は214億2869万円となり、市民1人当たりになると約32万円(※2)となります。

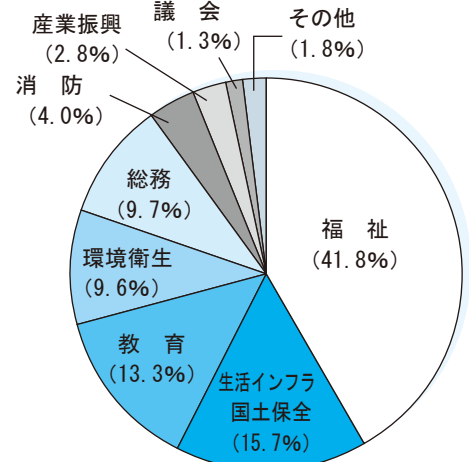
(※2) 平成24年度末住民基本台帳人口/67,456人で算出

行政サービスに
どれだけお金が
必要なのかよく
わかりますね。



経常行政コスト	金額	構成比
1. 人にかかるコスト	54億8649万円	25.6%
2. 物にかかるコスト	49億2313万円	23.0%
3. 移転支出的なコスト	106億3011万円	49.6%
4. その他のコスト	3億8896万円	1.8%
経常行政コスト合計(A)	214億2869万円	100.0%
経常収益	金額	構成比
1. 使用料・手数料	5億5229万円	27.0%
2. 分担金・負担金・寄附金	14億8984万円	73.0%
経常収益合計(B)	20億4213万円	100.0%
純経常行政コスト(A)-(B)	193億8656万円	

(※3) 移転支出的なコストとは、補助金や社会保障給付などのことをいいます。



経常行政コストの行政目的別内訳

④資金収支計算書

(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

資金収支計算書は、行政活動を資金の流れから見たもので、会計年度内における資金の増減内訳を示しています。

・経常的収支の部

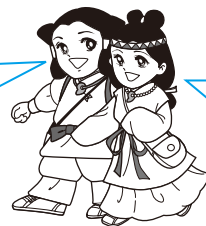
経常的な行政サービスに伴う現金の収支は黒字ですが、黒字額が減少すると現在の行政サービスを続けていく余裕がなくなります。

・公共資産整備収支の部、投資・財務的収支の部

どちらも赤字(マイナス)になっていますが、建設事業や地方債の償還には大きな資金が必要となるため、経常的収支の黒字分(一般財源)を充ててまかなっています。

平成24年度は収入合計が257億3356万円、支出合計が260億1139万円です。約2億7783万円の赤字になりました。そのため前年度からの繰り越し11億6647万円から当期収支の赤字分を減額した金額約8億8864万円を翌年度以降の財源に繰り越しました。

私たちも知っておく必要があるね。一緒に本市のホームページを見てみよう。



財務書類からどんなことがわかるのかしら？

区分	総額
1. 経常的収支の部	39億7878万円
収入	250億1022万円
支出	210億3144万円
2. 公共資産整備収支の部	△8億9974万円
収入	6億3460万円
支出	15億3434万円
3. 投資・財務的収支の部	△33億5687万円
収入	8874万円
支出	34億4561万円
4. 当年度歳計現金増減額	△2億7783万円
5. 期首歳計現金残高	11億6647万円
6. 期末歳計現金残高	8億8864万円

複式簿記・発生主義の考え方を取り入れた「総務省方式改訂モデル」で財務書類4表を作成しました。今後も引き続き、資産と負債を適正に管理し、最小の経費で最大の行政サービス提供に向けて、効率的な財政運営に努めます。なお、平成24年度普通会計財務書類4表の詳細及び解説は、市ホームページ財政課(<http://www.city.tenri.nara.jp/gyomu/zaisei/>)で公表していますので、ぜひご覧ください。

◆問い合わせ 財政課(☎内線453)へ